

「学生による授業評価」のまとめ 2023年度第1・第2クォーター刊行にあたって

2023年12月

南山大学ファカルティ・ディベロップメント (FD) 委員会
委員長 服部 寛

南山大学では、各教員が授業方法の改善点を見出し、大学全体の教育の質を向上させることを目的として、1997年度より、全学で「学生による授業評価」を実施している。この授業評価の実施形態は、2017年度におけるクォーター制の導入・名古屋キャンパスへの統合・授業評価のウェブ入力方式への変更といった大きな転換を経て、また2020年度に科目選出方法が見直され、基本的なあり方が整えられた。2020年に発生した新型コロナウイルス感染症の影響を受け、オンライン授業・ハイブリッド授業の導入を余儀なくされ、これに伴い授業評価も、設問内容の変更が図られた。2022年度には対面授業にほぼ戻ることとなり、2023年度の授業もほとんどの授業が対面で実施されるに至った。

「学生による授業評価」に関する情報のうち、

・基本的な情報は、

「南山大学ホーム」>「日本語トップ」>「南山大学 教育企画・研究推進課」>「授業評価」

<https://office.nanzan-u.ac.jp/kyoken/jugyou/>

・「学生による授業評価」の結果の概要については、

「南山大学ホーム」>「総合案内」>「南山の取組」>「各種評価活動」

<https://www.nanzan-u.ac.jp/Menu/hyoka.html>

に掲載されている。

1 授業評価の実施方法

① 対象科目

各学期について1教員につき1科目が選択され第1・第2クォーター合わせて合計449科目が授業評価の対象となった。

② 質問項目

質問項目は以下のとおりである。設問1と2は、学生の授業参加を問う項目、設問3から14は教員の授業運営や授業全体に関して問う項目となっている。このほかに、3つの自由記述の質問項目を設けており、理工学部の授業については4つの追加設問項目がある。

〈「学生による授業評価」質問項目〉

設問1：この授業を履修する前、あなたは授業の内容について興味を持っていましたか。

設問2：受講に際して、予習や復習を含め、主体的に授業に参加し、内容を理解しようとする努力をしましたか。

設問3：オンラインで受講した場合、事前に予告された開始時間は守られていましたか。対面で受講した場合、授業の開始と終了の時間は守られていましたか。

設問4：毎回の授業の構成や進行速度は適切なものでしたか。

設問5：この授業の到達目標を理解することができましたか。

設問6：あなたはこの授業の到達目標に向けて力がついてきていると思いますか。

設問7：担当教員の授業に取り組む姿勢に誠実さ、真剣さを感じることができましたか。

設問8：授業中に、教員の声や音声機器の音はよく聞き取れましたか。オンラインで受講した場合でネットワーク環境が不安定だった場合は【3 どちらとも言えない】を選択してください。

設問9：教員は学生の理解度に配慮し、また、教科書、配布資料、視聴覚教材、課題、実技などを効果的に使って適切に授業を進めましたか。

設問10：授業の妨げになる行為に対して、適切な対処がされていましたか。

設問11：学生の学習意欲を引き出し、積極的な授業参加や自主的な学習を促すための、適切な指導や情報提供はありましたか。

設問12：質問や相談の機会が、十分に設けられていましたか、あるいは、課題、実習等に対する事前・事後指導は十分でしたか。

設問13：この授業を通して、新しい知識（あるいは、技術や能力）を得たり、理解が深まったと感じますか。

設問14：全体として、あなたはこの授業に満足しましたか。

③ 実施手順

授業評価の実施はウェブ入力によって行われる。回答は匿名化して処理される。学生は、教員の指示により授業時間内外に各自のスマートフォン等を使ってPORTALにログインして回答する。授業時間にスマートフォン等を携帯していない等、回答ができない学生は、授業終了後に学内または自宅PC等を利用して回答することが可能である。

④ 実施・集計日程

以下の日程で実施集計を行った。別途、FD委員会による自由記述の閲覧および結果の分析・検討を行っている。

	第1クォーター	第2クォーター
授業評価の実施	2023年5月15日～ 2023年5月27日	2023年7月10日～ 2023年7月22日
集計作業	2023年5月29日～ 2023年5月31日	2023年7月24日～ 2023年7月26日
教員への集計結果の通知	2023年6月1日	2023年7月27日
教員からの自己点検・評価報告書提出	2023年6月1日～ 2023年8月22日	2023年7月27日～ 2023年8月22日
『学生による授業評価』のまとめの発行	2023年12月	2023年12月

2 集計結果の概要

① 回答率について

回答率は、登録人数のうち、実際の回答者数の割合である(表1)。今回の対象期における「全体」の数値は、第1クォーターが「58.16%」・第2クォーターが「46.24%」であった。前年度の第1クォーター「49.01%」・第2クォーター「46.89%」と比較すると、第1クォーターでは大きく回答率が伸び、第2クォーターでは若干低下している。2017年度からの平均値と比べると、第1クォーターはいずれも平均を超えているが、第2クォーターでは、小規模の授業の回答率が平均を下回っている。第1クォーターでは、特に、61名以上の中規模・大規模の授業に関する回答率について上昇が見られている。興味深いことは、第2クォーターの30名以下の小規模の授業において回答率の低下が見られるが、中規模(「31~60名」「61~120名」「121~240名」)では数値の上昇を確認することが可能である、ということである。特に第1クォーターにおいて回答率が大きく伸びていることについては、今年度から対面授業が本格的に全面的に再開されたことについて、学生の授業への参加や関心度合いの高まりが考えられるほか、授業評価アンケートについても着実に実施されたことも推察される。昨期(2022年度の第3クォーター・第4クォーター)において中規模・大規模の講義における回答率の落ち込みについて、回答率の改善にあたって大きな課題であると指摘したばかりであるが、今期において、中規模・大規模の授業の回答率が上昇したことは、たしかに今期の全体の回答率の底上げに繋がるように見える。こうした中規模・大規模の授業を中心とした、これまでに学生による授業のフィードバックへの態度(の変化)についても、注目に値するであろう。ただ、中規模「61~120名」・大規模「241名」以上の回収率においては、第1クォーターと第2クォーターの間での落ち込みが大きい。これはこれまででも見られる傾向ではあるが、中規模以上の授業での実効的なアンケートの実施を引き続きお願いしたい。

表1 回答率(2017年度第1クォーター~2023年度第2クォーター) (数値:%)

年度 学期	17 Q1	17 Q2	17 Q3	17 Q4	18 Q1	18 Q2	18 Q3	18 Q4	19 Q1	19 Q2	19 Q3	19 Q4	2017~いま までの平均値
全体	62.44	47.37	44.49	41.94	50.16	46.51	44.33	42.15	50.89	46.13	42.16	46.23	47.16
30名以下	79.95	69.47	60.56	58.28	69.37	71.37	63.89	62.28	70.28	67.51	62.32	65.42	63.77
31~60名	69.06	57.20	50.19	46.24	55.99	50.81	51.75	50.21	52.15	50.88	46.19	51.36	52.58
61~120名	63.43	49.50	42.49	40.53	50.73	46.12	40.79	40.57	52.75	44.27	39.45	45.43	45.89
121~240名	60.14	45.15	44.58	37.85	45.81	43.18	42.36	41.20	50.23	46.69	38.65	41.80	44.26
241名以上	56.69	38.28	37.89	37.33	43.69	38.39	34.84	30.61	42.75	36.17	35.58	34.67	41.99

年度 学期	20 Q1	20 Q2	20 Q3	20 Q4	21 Q1	21 Q2	21 Q3	21 Q4	22 Q1	22 Q2	22 Q3	22 Q4	23 Q1	23 Q2
全体	実	52.42	42.25	41.51	48.05	50.30	44.50	47.90	49.01	46.89	41.97	45.10	58.16	46.24
30名以下	施	68.86	48.77	50.22	62.11	70.02	51.66	58.78	69.35	65.55	57.09	59.02	73.17	59.06
31~60名	せ	54.99	39.65	42.54	53.04	56.27	46.25	52.79	57.93	55.00	49.53	51.53	61.39	61.45
61~120名	ず	52.44	40.29	38.40	42.26	48.70	41.78	48.63	48.36	46.71	35.40	42.60	58.23	47.50
121~240名		49.70	41.43	37.00	46.30	44.67	42.21	43.52	40.98	40.53	42.41	41.74	53.68	44.79
241名以上		48.20	46.64	43.32	45.34	48.84	46.39	42.07	47.74	42.55	34.71	40.27	55.36	41.40

※今回は、2017年度以降のデータを参考として掲載している。

② 報告書提出について

授業評価を行った後に、教員より自己点検・評価報告書を提出していただいている。2023年度第1クォーターは全員から提出され、第2クォーターにおいて、休職に伴うやむない事由ではあるが、1件の報告書非提出が発生している(報告書の提出99.36%、非提出0.64%)。続くクォーターにおいても、全件の期限内の提出が実現されるよう、ご理解とご協力をお願いしたい。

③ 項目3から14の評定平均値について・項目ごとの評定平均値について

表2は、「項目3から14の評定平均値」を表わしたものである。2023年度の第1クォーター・第2クォーターの当該数値は、それぞれ「4.43」「4.48」であり、昨年度の同時期に比べると、第1クォーターでは0.05ほど落ち込み、第2クォーターではほぼ同水準であった。2017年度からの平均値は「4.39」であり、第1クォーター・第2クォーターとも、これを上回っている。

表2 項目3から14の評定平均値(2017年度第1クォーター~2023年度第2クォーター)

年度 学期	17 Q1	17 Q2	17 Q3	17 Q4	18 Q1	18 Q2	18 Q3	18 Q4	19 Q1	19 Q2	19 Q3	19 Q4	20 Q1	20 Q2	20 Q3	20 Q4	21 Q1	21 Q2	21 Q3	21 Q4	22 Q1	22 Q2	22 Q3	22 Q4	23 Q1	23 Q2
全体	4.25	4.28	4.27	4.32	4.32	4.28	4.31	4.37	4.36	4.37	4.37	4.43	4.43	4.43	4.43	4.43	4.43	4.43	4.43	4.43	4.43	4.43	4.43	4.43	4.43	4.43

これをグラフ化したものが以下のとおりであり、上下しながら、2017年以降、右肩上がりである。今回の第2クォーターの「4.48」という値は、2022年度第1クォーターと並ぶ、これまでで最も高い数値となっている。

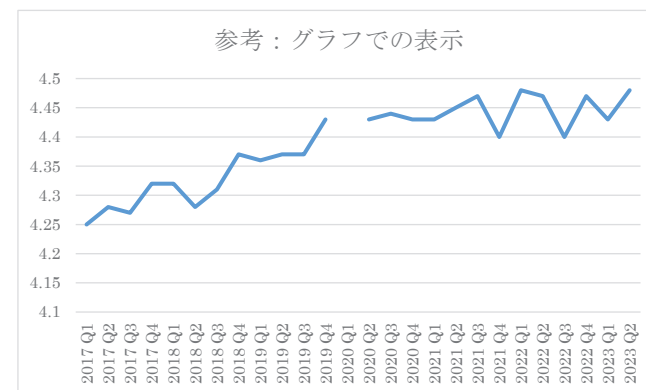


表3は、各設問項目の数値の推移を示している。第1クォーターにおいて、「到達目標の理解」「到達目標の達成」の項目の数値が前年度の同時期（2022年度第1クォーター）と比べて低下しており、項目7～13においても同様に低下が見られる。第2クォーターは昨年度同時期に比して数値を持ち直してきているが、「10 妨げ行為への対処」は、第1クォーター・第2クォーターとも、落ち込みが見られ、この点に関する意識を改めて引き締めることが必要となるであろう。

表3 項目ごとの評定平均値(2019年度第3クォーター～2022年度第4クォーター)

	設問項目 (2017Q1～)	2017	2017	2017	2017	2018	2018	2018	2018	2019	2019	2019	2019		
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4		
1	授業への興味	3.96	4.01	4.01	4.04	4.04	4.06	3.99	4.11	4.06	4.09	4.1	4.18		
2	授業への取り組み・自主的な学習の実行	3.86	3.91	3.93	3.95	4.00	3.97	4.01	4.07	4.06	4.05	4.08	4.13		
3	授業時間の厳守	4.61	4.60	4.59	4.63	4.68	4.57	4.61	4.61	4.65	4.65	4.64	4.63		
4	構成や速度が適切	4.33	4.38	4.34	4.38	4.38	4.34	4.36	4.42	4.43	4.43	4.42	4.49		
5	到達目標の理解	3.97	4.06	4.04	4.10	4.06	4.07	4.07	4.16	4.13	4.15	4.15	4.24		
6	到達目標の達成	3.87	3.94	3.95	3.99	3.96	3.97	4.01	4.07	4.04	4.07	4.09	4.16		
7	教員の姿勢	4.47	4.45	4.45	4.48	4.50	4.45	4.48	4.51	4.52	4.53	4.52	4.54		
8	教員の声	4.48	4.45	4.51	4.55	4.55	4.49	4.54	4.59	4.58	4.56	4.57	4.58		
9	理解度への配慮・板書、配付資料	4.27	4.31	4.29	4.35	4.35	4.31	4.34	4.42	4.41	4.41	4.42	4.48		
10	妨げ行為への対処	4.29	4.27	4.31	4.37	4.38	4.35	4.36	4.42	4.41	4.41	4.44	4.50		
11	意欲を引き出す工夫・自主的な学習の指導	4.10	4.14	4.13	4.17	4.17	4.14	4.18	4.26	4.22	4.24	4.25	4.33		
12	質問や相談の機会	4.19	4.25	4.25	4.27	4.30	4.23	4.28	4.36	4.33	4.33	4.37	4.42		
13	知識・理解の深まり	4.23	4.26	4.25	4.29	4.29	4.27	4.28	4.34	4.34	4.35	4.34	4.40		
14	全体としての満足度	4.16	4.19	4.17	4.23	4.22	4.19	4.22	4.29	4.27	4.28	4.28	4.36		
	設問項目 (2017Q1～)	2020	2020	2020	2020	2021	2021	2021	2021	2022	2022	2022	2023	2023	
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
1	授業への興味		4.16	4.12	4.20	4.10	4.12	4.13	4.06	4.07	4.12	4.00	4.11	4.01	4.12
2	授業への取り組み・自主的な学習の実行		4.22	4.18	4.22	4.18	4.17	4.15	4.08	4.17	4.14	4.08	4.14	4.13	4.13
3	授業時間の厳守		4.73	4.72	4.67	4.74	4.70	4.75	4.64	4.72	4.68	4.62	4.65	4.74	4.69
4	構成や速度が適切		4.48	4.49	4.47	4.48	4.49	4.51	4.46	4.52	4.53	4.44	4.54	4.52	4.54
5	到達目標の理解		4.19	4.17	4.21	4.16	4.18	4.18	4.16	4.24	4.23	4.14	4.25	4.18	4.26
6	到達目標の達成		4.10	4.11	4.14	4.07	4.11	4.12	4.08	4.16	4.15	4.07	4.15	4.09	4.18
7	教員の姿勢		4.60	4.60	4.57	4.58	4.60	4.63	4.53	4.63	4.62	4.57	4.61	4.59	4.64
8	教員の声		4.48	4.56	4.53	4.60	4.59	4.63	4.60	4.64	4.61	4.56	4.60	4.63	4.66
9	理解度への配慮・板書、配付資料		4.44	4.47	4.45	4.46	4.47	4.50	4.46	4.53	4.51	4.45	4.52	4.49	4.54
10	妨げ行為への対処		4.64	4.67	4.71	4.72	4.70	4.74	4.66	4.69	4.70	4.62	4.66	4.53	4.55
11	意欲を引き出す工夫・自主的な学習の指導		4.28	4.32	4.30	4.26	4.31	4.35	4.25	4.34	4.34	4.26	4.35	4.28	4.37
12	質問や相談の機会		4.45	4.49	4.44	4.42	4.46	4.48	4.36	4.46	4.49	4.41	4.45	4.41	4.49
13	知識・理解の深まり		4.39	4.39	4.37	4.38	4.40	4.39	4.36	4.44	4.43	4.36	4.44	4.4	4.47
14	全体としての満足度		4.33	4.34	4.33	4.30	4.35	4.36	4.30	4.39	4.38	4.29	4.39	4.34	4.41

3 教員ごとの結果の見方

「7 自己点検・評価報告書」に記載されている頁番号（丸括弧がないもの）の箇所では、教員ごとの結果を示している。本報告書では、原則として1ページに2件分の結果をまとめて表示する。それぞれ、次の内容となっている。

① 科目名、教員名、回答率、休講・補講回数など

② 2種類のレーダーチャート 右下の図は回答者全員の集計結果であり、左上の図は学生自身の授業参加姿勢を問う設問項目2の評定値が3.0以上の学生だけに絞って集計した結果である。

③ 「授業評価結果を踏まえた点検・評価」 各教員が今回の授業評価結果を基に、結果の自己点検評価や、次学期・クォーターに向けた改善策などを書いた報告書である。

4 授業評価結果の活用

この授業評価は、授業担当者が自らの授業をよりよいものへと改善していくために役立つ情報を学生から収集するために行われている。各授業担当者は、評価項目の数値や自由記述欄に書かれた内容を基礎として、自分の授業について点検・評価を行って改善策を検討することとなっている。授業評価の実施、点検および評価、改善策の検討と実施を1つのサイクルとして、授業の質等を向上させることにつながれば幸いである。

今回の対象となっている、2023年度の第1・第2クォーターでは、原則として対面授業で、教室の収容率も100%となり、新型コロナウイルス感染症が発生した以前の状況とほとんど変わらないかたちで授業が実施されることとなった。今回のこの「学生による授業評価のまとめ」も、いまの授業評価の実施形態の元となっている2017年度からの平均を適宜見ており、それによれば、今期は、数値的には平均を超えているところが多いことを確認することができる。

授業評価アンケート自体について、設問の内容や実施の方法などについて、諸方面から意見が提出されており、あるいはそのあり方自体について、大きく見直す気運が徐々に高まっているところである。そのためにも、現状の授業評価アンケートのデータを過去数年分からきちんと洗い出し、またしっかりとした学術的な分析も踏まえ、各人の授業のあり方あるいは越えるであろうような、本学の授業のあり方一般に関する広い議論もまた、大切な課題として我々を待ち受けているものと言えよう。

以上